

2023年9月期（2023年7月11日～2023年9月24日）決算短信

2023年11月8日

ファンド名 グローバルX Morningstar 米国中小型 Moat ETF 上場取引所 東証
 コード番号 2252
 連動対象指標 Morningstar®米国中小型モート・フォーカス株式指数SM
 主要投資資産 株式、投資信託受益証券
 売買単位 1口
 管理会社 Global X Japan株式会社 URL <https://globalxetfs.co.jp/>
 代表者名 (役職名)代表取締役社長 (氏名)姜 昇浩
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部 (氏名)仁木 大介 TEL (03)3528-8555

有価証券報告書提出予定日 2023年12月15日

分配金支払開始日 2023年11月2日

I ファンドの運用状況

1. 2023年9月期の運用状況(2023年7月11日～2023年9月24日)

(1)資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
2023年 9月期	百万円 339	% (99.2)	百万円 2	% (0.8)	百万円 341	% (100.0)

(2)設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
2023年 9月期	千口 -	千口 1,500	千口 1,150	千口 350

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×100
2023年 9月期	百万円 343	百万円 1	百万円 341	円 97,645

(4)分配金

	100口当たり分配金
2023年 9月期	円 300

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

	第1期 2023年9月24日現在 金額 (円)
	資産の部
流動資産	
預金	2,621,833
金銭信託	1,124,385
株式	309,798,953
投資信託受益証券	29,392,816
未収入金	30,184
未収配当金	407,281
流動資産合計	343,375,452
資産合計	343,375,452
負債の部	
流動負債	
未払収益分配金	1,050,000
未払受託者報酬	32,169
未払委託者報酬	450,524
その他未払費用	83,538
流動負債合計	1,616,231
負債合計	1,616,231
純資産の部	
元本等	
元本	350,000,000
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△8,240,779
(分配準備積立金)	28,905
元本等合計	341,759,221
純資産合計	341,759,221
負債純資産合計	343,375,452

(2) 【損益及び剰余金計算書】

	第1期 自 2023年 7月11日 至 2023年 9月24日
	金 額 (円)
営業収益	
受取配当金	1,733,805
受取利息	403
有価証券売買等損益	△85,734,096
為替差損益	58,421,412
営業収益合計	△25,578,476
営業費用	
受託者報酬	32,169
委託者報酬	450,524
その他費用	172,610
営業費用合計	655,303
営業利益又は営業損失 (△)	△26,233,779
経常利益又は経常損失 (△)	△26,233,779
当期純利益又は当期純損失 (△)	△26,233,779
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)	—
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	—
剰余金増加額又は欠損金減少額	24,825,000
当期追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額	24,825,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,782,000
当期一部解約に伴う剰余金減少額 又は欠損金増加額	5,782,000
分配金	1,050,000
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△8,240,779

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項 目	第1期 自 2023年 7月11日 至 2023年 9月24日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>

<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>(1)外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p> <p>(2)計算期間 当ファンドの第1期計算期間は、2023年7月11日から2023年9月24日までとなっております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項 目	第1期 2023年9月24日現在
<p>1. 期首元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額</p>	<p>200,000,000円 1,300,000,000円 1,150,000,000円</p>
<p>2. 計算期間末日における受益権の総数</p>	<p>350,000口</p>
<p>3. 元本の欠損</p>	<p>貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は8,240,779円であります。</p>

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項 目	第1期 自 2023年 7月11日 至 2023年 9月24日
<p>1. その他費用</p>	<p>主に、対象指数の商標の使用料であります。</p>
<p>2. 分配金の計算過程</p>	<p>当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当等収益額(1,734,208円)及び分配準備積立金(0円)の合計額から、経費(655,303円)を控除して計算される分配対象額は1,078,905円(100口当たり308円)であり、うち1,050,000円(100口当たり300円)を分配金額としております。</p>

(金融商品に関する注記)

I 金融商品の状況に関する事項

項 目	第1期 自 2023年 7月11日 至 2023年 9月24日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

II 金融商品の時価等に関する事項

項 目	第1期 2023年9月24日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)
 売買目的有価証券

種 類	第1期 2023年9月24日現在	
	当期の損益に 含まれた評価差額 (円)	
株式		△19,370,358
投資信託受益証券		△2,494,195
合計		△21,864,553

(デリバティブ取引に関する注記)
 該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)
 該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第1期 2023年9月24日現在	
1口当たり純資産額 (100口当たり純資産額)		976.45円 (97,645円)